

# 国際共同研究の拠点 - ベトナム

NCGM エイズ治療・研究開発センター

エイズ治療・研究開発センター（ACC）は、ベトナム社会主義共和国の国立バクマイ病院と国立熱帯病病院に拠点を構え、ベトナムをはじめ、アジア地域における HIV 診療の改良につながる共同研究を行っています。

## 主な研究プロジェクト



SATREPS プロジェクトのキャラクター、  
たぬきのティンちゃん

1

2019 -  
地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）

## ベトナムにおける治療成功維持のための “bench-to-bedside system”構築と新規HIV-1感染阻止プロジェクト

経済発展が進み、自国の医療保険制度で地方・郡レベル病院での HIV 治療を行うことを決めたベトナムで、2019 年より「ベトナムにおける治療成功維持のための“bench-to-bedside system”構築と新規 HIV-1 感染阻止プロジェクト」を実施しています。

地方病院で適切な治療が提供されているかを中央で確認する仕組みの構築、新規感染予防のための曝露前予防内服、抗 HIV ワクチンの設計に向けた基礎医学的な分析などに取り組んでいます。プロジェクトで確立した HIV 治療モニタリングシステムと有効な予防法は、ベトナムの HIV 新規感染者減少に貢献し、世界の HIV/ エイズ対策の有用なモデルとして活用されることが期待されています。



ベトナム ハノイで開催されたキックオフミーティング

### 抗 HIV 療法モニタリング システムの構築



北ベトナムの 10 の地方病院と熱帯病病院をむすぶ血液検体輸送システムおよび抗 HIV 療法モニタリングシステムを構築し、HIV 感染者のウイルス量と薬剤耐性を定期的に確認します。治療現場で迅速に検査データを活用することで、適切な治療薬の選択など、より効果的な治療の提供を目指しています。

### 曝露前予防内服（PrEP）の 効果検証



ハノイ医科大学で実施している HIV 曝露前予防内服（PrEP）プログラムの参加者を対象に、PrEP の失敗事例（HIV 感染事例）と薬剤耐性ウイルスや服薬アドヒアランスの関連を調査し、ベトナムにおける PrEP の有効性を評価しています。

### HIV ワクチンの設計に向けた 基礎医学的な分析



ハノイ医科大学の男性同性愛者（MSM）コホートをを用いて、HIV に曝露した HIV 非感染 MSM の細胞性免疫能を検証し、エイズワクチン抗原の設計に役立つ抗原情報の収集を目指します。

2

2005 - 2019

## 感染症研究国際展開戦略プログラム J-GRID

ACC は、感染症研究国際展開戦略プログラム J-GRID に基づく「ベトナムにおける長崎大学感染症研究プロジェクト」の分担機関として、HIV 感染症に関する研究を行いました。

### HIV 感染者のコホート研究



2007 年より熱帯病病院とバクマイ病院に HIV 感染者コホートを設立し、コホートから臨床データを定期的に収集。治療成績、薬剤耐性ウイルスのほか、抗レトロウイルス薬の副作用、HIV 感染者の QOL やうつ病などについて研究を行いました。

### 国際協力



研究結果について WHO、CDC、ベトナム保健省エイズ対策室へ情報提供を行いました。2006 年には、WHO の要請により、西太平洋地区 HIV 薬剤耐性会議にベトナム代表団の一員として参加しました。

### 人材交流



ベトナムの医師・看護師・検査技師等の医療スタッフに向けて研修を実施しました。



バクマイ病院のラボ



ハノイ医科大学とのミーティング